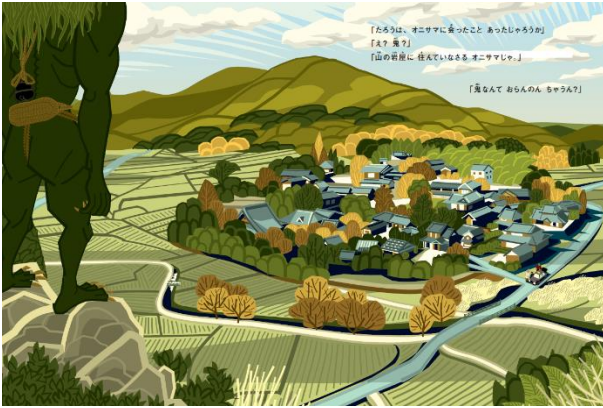


六郷満山日本遺産推進協議会

第3回 総会



完成したストーリーブックの1ページ(左上)／発信型シンポジウム「鬼祭り」(右上)
くにさきガチャガチャワークショップ(左下)／栗山喬氏によるプロモーション画像(右下)

3 議事

(1) 第1号議案 令和元年度（平成31年度）事業報告

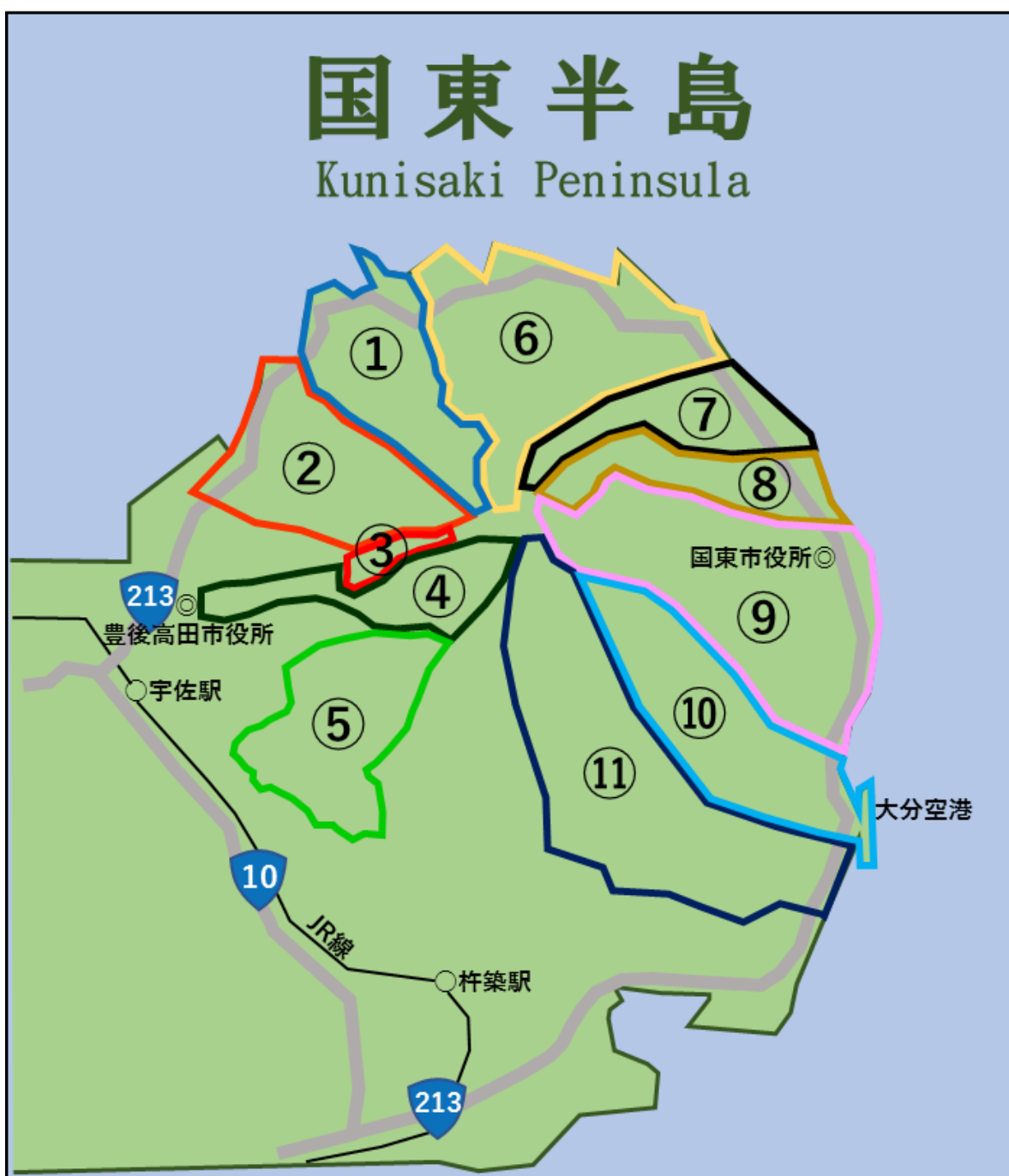
1. 情報発信・人材育成事業

事業① 地域ブランド向上のためのデザイン開発事業

日本遺産の取組の効果をしっかりと地域に落とししていくために、遺産全体のプロモーションと同時に、文化資源を活用して小さなエリアのブランディングを目指している。

国東半島に同質のエリア“谷”を11ヶ所設定し、1つ1つの地域磨きのための準備として、谷の日本遺産構成文化財などを図案化したエンブレムを制作し、エンブレムを使った看板をそれぞれの谷の入り口に設置した。

【エリア分けのイメージ】



【完成したエンブレム】



①香々地谷



②真玉谷



③長岩屋谷



④都甲谷



⑤田染荘



⑥国見谷



⑦来浦谷



⑧富来谷



⑨国東谷



⑩武蔵谷



⑪両子谷

【カラー展開】

地域資源のイメージと合うようにカラー展開を行った。組み合わせて使用する際や、小さく表示する際にも、美しく表示でき、視認性も高まる。

①香々地谷：長崎鼻の海のブルー

②真玉谷：真玉海岸の夕陽と柿のオレンジ

③長岩屋谷：災払鬼と鬼灯の赤

④都甲谷：霊峰屋山の濃い緑

⑤田染荘：田染荘の水田の早苗の緑

⑥国見谷：ミツマタの淡い黄色

⑦来浦谷：岩戸寺の鬼の黒

⑧富来谷：富来神社のゴールド

⑨国東谷：桜八幡社の桜色

⑩武蔵谷：大分空港の空色

⑪両子谷：三浦梅園が見上げた夜空の紺

【組み合わせでの使用イメージ】



【小さく表示する際のイメージ】



【コラボ時の表示】



【看板での使用感】



【スタンプラリーでの使用感】



【看板設置状況】



事業② くにしきガチャガチャ制作ワークショップ開催事業

日本遺産の構成文化財を多くの観光客の手に取ってもらうために製作する“くにしきガチャガチャ”について、大分県内の大学生・短大生等を対象にしたワークショップ形式での開発を行った。

集まった学生たちは当初は国東半島に来たこともなかったが、現地視察や講座を経て、徐々に国東半島についての深い知識を身につけ、ガチャガチャのほかにも、製作したい商品の案をいくつも提案するまでに至った。

今年度はワークショップの成果として、3/14（土）に完成した3Dデータの展示を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響でWEB上での発表資料作成に止まった。

今後の商品化の動きについては、令和2年度も引き続き大分県デザイン協会と連携しながら実施していく（令和2年度中に完成・販売を開始する予定）。

【ワークショップの経過・実施実績】

①7/15	顔合わせ	講師：豊住、櫻井	参加：板井、松本	@ホルトホール
②8/7	現地視察1	講師：豊住、櫻井	参加：松本	@豊後高田市内
③9/4	現地視察2	講師：豊住、櫻井	参加：園田、松本	@国東市内
④9/5	視察のまとめ	講師：豊住、櫻井	参加：松本	@ホルトホール
⑤9/21	制作方法等の紹介	講師：豊住、櫻井	参加：板井、松本	@ファブラボ大分
・10/6	方向性についての協議	参加：豊住、櫻井、板井、松本		@ファブラボ大分
⑦10/13	中間発表の準備	講師：豊住、櫻井	参加：松本	@ファブラボ大分
⑧10/14	中間発表	講師：豊住、櫻井	参加：板井、松本	@真玉庁舎
	現地視察3	講師：豊住、櫻井	参加：松本	@岩倉社
⑨11/10	制作方法の決定	講師：豊住、櫻井	参加：板井、松本	@ばんぢろ
・11/15	方向性についての協議		参加：豊住、松本	@ファブラボ大分
⑩12/1	3Dモデルの制作	講師：豊住、櫻井		@ファブラボ大分
⑪2/3	3Dスキャン	講師：豊住	参加：神崎、松本	@国東市内
⑫2/18	NHK取材兼制作	講師：豊住	参加：松本	@ファブラボ大分
⑬2/14	最終報告について	講師：豊住、櫻井	参加：板井、松本	@ファブラボ大分
・	最終報告のための協議	参加：豊住、櫻井、板井、松本		@ファブラボ大分
⑭⑮3/11-12	モデリング制作	講師：豊住		@ファブラボ大分
⑯3/14	モデリング制作	講師：豊住、櫻井	参加：松本	@ファブラボ大分
⑰3/15-3/29	モデリング制作	講師：豊住		@ファブラボ大分



初回ワークショップの様子(7/15)



現地視察の様子(8/7)



中間発表の様子(10/14)



3Dスキャンの様子(2/3)



ファブラボでの協議風景



3Dモデルの制作風景



石仏系の試作品

事業③ ファムトリップ・雑誌記事作成などによる情報発信事業

国東半島の特性をいかした旅行商品の提案として、国東半島峯道ロングトレイルなどのアクティビティをブランディングするためのリトリートツーリズムのルート構築とPR素材等の確保の事業を実施した。

媒体には柘出版の『ランドネ (女性のための登山・アクティビティ雑誌)』を採用し、心臓ヨガをメニューに加えた「心と向き合う“鬼の半島”アウトドアリトリート旅」のルートを作成して、12月21日(土)～22日(日)の2日間でモニターツアーを実施した。

発信力強化のためのInstagram強化の方針として、インスタグラマー・栗山喬氏によるInstagram投稿及び地元事業者向けのInstagram講座(2/14)を実施した。

また、移動式ショップの設計を依頼し、来年度に向けて実施する準備を実施した。



モニターツアーの様子@中山仙境(12/21)



モニターツアーの様子@旧千燈寺(12/22)



インスタグラム講座(2/14)



インスタグラムでのPR画像の例



事業④ ラグビーワールドカップでの日本遺産PR事業

大分県でも試合が実施された RWC2019 において、両市ではそれぞれファンブースでの PR 活動を実施した。その際にインバウンドに対して国東半島・日本遺産の魅力を伝えるために多言語のパネルを9種類制作して活用した。



RWCファンブースでの使用状況



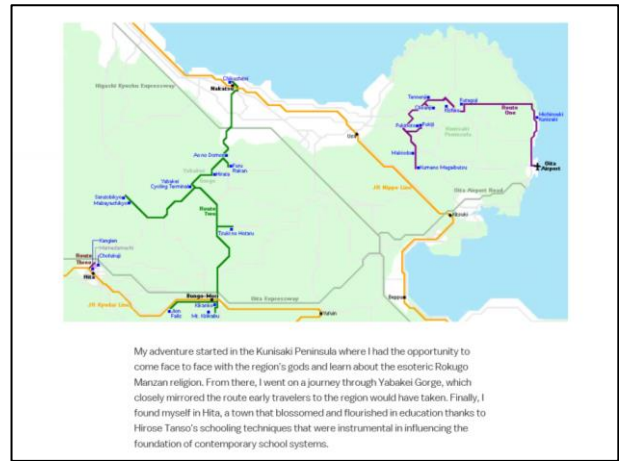
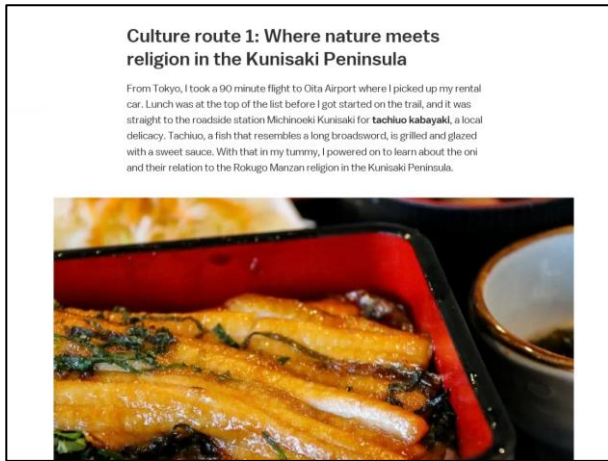
都甲地域歴史資料展示場日本遺産展示での使用状況

○県内連携事業 Japan-guide 記事掲載事業

県内の日本遺産認定地（日田、中津玖珠）との連携事業として、インバウンドが日本旅行で最も参考にするサイトの1つである Japan-guide への記事掲載を実施した。220 万円の委託料の内、本市は 70 万円を負担した。

サイトの記事自体はログが残るため、今後も QR コード等を使つての発信が可能である。

記事タイトルは「Three cultural routes in Kyushu —Uncovering local culture, natural beauty and history in Oita Prefecture—」。



○九州連携事業

7/26 に日本遺産九州連携の作業部会を実施。事務局の北九州市から九州連携の協議会の立ち上げと、ブランディングに関する事業案の取りまとめがあった。

ただ、北九州下関、中津玖珠、くにさきの3協議会しか予算を用意していないという状況であったこともあり、提案可決された事業としては「ロゴマークの制作」にとどまり、連携をするための機運を醸成するための取組を各自行うこととした。

その後、特に九州連携に関する協議会発足・事業実施については進展がなく、2月になって漸く連絡があり、北九州市独自の予算で、旅行会社向けの九州連携の資料を作成することのみとなった。

○日本遺産サミット in 高知・日本遺産の日PRイベント

文化庁・日本遺産連盟等が主催する日本遺産をPRするイベントに参加した。

10/12-13 (土日) には、日本遺産サミット in 高知があり、帯屋町アーケードでPRブースを設置した (参加：金當・河野)。

2/11-13 (月火水) には、日本遺産の日PRイベント (有楽町) があり、東京交通会館前の広場でPRブースを設置した (参加：園田、松本)。



日本遺産サミット@高知(10/12-13)



日本遺産の日PRイベント(2/11-13)

2. 普及啓発事業

事業⑤ 発信型シンポジウム「鬼祭り」開催事業

10/13（日）に、アストくにさきにて、発信型シンポジウム「鬼祭り」を開催した。エリア内の鬼にまつわる文化として「武多都神楽」「豊後みさき太鼓」を披露し、エリア外からも「薩摩硫黄島のメンドン」「長濱神楽」が集いにぎやかなイベントとなった。

シンポジウムでは基調講演に吉田寛氏（コピーライター）、パネルディスカッションに松村紅実子氏（フリーアナウンサー）・つだつよし、氏（放送作家）らを招聘し、日本文化としての「鬼」の面白さに触れる有意義な内容となった。

世界に向けて日本文化を発信するというコンセプトから、英訳した資料も準備した。



吉田寛氏による講演



薩摩硫黄島のメンドン

事業⑥ 子ども版日本遺産ストーリーブック制作事業

小学校高学年及び外国人観光客（英語・仏語圏）をターゲットにしたストーリーブックを制作した。昨年は後段の図鑑部分を作成したが、今年は前段の絵本部分の制作に取り掛かった。絵本作家・中川学氏に制作を依頼し、国東半島・日本遺産の世界観が伝わるようなストーリーブックが完成した。

日本遺産の事業では 500 冊作成し、制作関係者、小中学校、図書館、公民館などに配置し、地域学習・PRに活用してもらう。

英語・仏語版は当面はPFDデータでの公開を行う。



完成したストーリーブック



英語・仏語版のデータも公開中

○出前講座

地域の小中学校に向けた出前講座、一般向けの講座を実施し、日本遺産及びその内容についての普及啓発を行った。昨年よりは回数が減ったが、地道な活動を継続して実施した。

【学校を対象とした講座の実績一覧】

- ・『VR無明橋について』(4/15・戴星学園 3-4 年生) 講師：事務局 松本
→大分合同新聞の子ども新聞に掲載
- ・豊後高田市小学生のための歴史探訪 (8/21・市内各校児童会) 講師：事務局 大山、松本
- ・『修正鬼会と農村の暮らし』(11/25・戴星学園 8 年生) 講師：事務局 松本



【その他、一般を対象にした講座の実績一覧】

- ・『鬼が仏になった里「くにさき」について』(6/24・三重の郷歴史講座) 講師：事務局 松本
- ・『日本遺産の文化財めぐり』(9/8・九州青年の船同窓会) 講師：事務局 松本
- ・『鬼が仏になった里「くにさき」について』(9/26・みやこ町) 講師：事務局 松本
- ・県内外国人を対象にした周遊モニターツアー(9/30) 講師：県 越智・高宮、事務局 松本
- ・『日本遺産について』(10/11・県北都市財政協議会事例報告) 講師：事務局 松本
- ・郷土の文化財探訪バスツアー『新指定の文化財(H29-R01)』(10/19) 講師：事務局 大山、松本
- ・『日本遺産の文化財めぐり』(10/24・みやこ町歴史講座) 講師：事務局 松本
- ・修正鬼会ガイド研修 (12/18・豊の国千年ロマン観光圏ガイド研修) 講師：事務局 松本
- ・『日本遺産くにさきについて』(1/18・MANABAナイト in 別府) 講師：事務局 松本
- ・六郷満山の峯入りについて (1/30・真玉郷土研究会) 講師：事務局 松本
- ・修正鬼会ガイド研修 2 (1/31・豊の国千年ロマン観光圏ガイド研修) 講師：事務局 松本



郷土の文化財探訪バスツアー(10/19)



修正鬼会ガイド研修(12/18)



MANABA ナイト(1/18)

【国東市歴史体験学習館での説明実績】

- ・日本遺産に関する説明対応 (6/23) 担当：事務局 園田
- ・日本遺産に関する説明対応 (7/18) 担当：事務局 園田
- ・日本遺産に関する説明対応 (8/22) 担当：事務局 園田
- ・日本遺産に関する説明対応 (3/1) 担当：事務局 神崎

3. 調査研究事業

事業⑦「鬼の幸」ブランド化のための調査事業

平成30年度より別府大学の受託研究として実施している調査事業であるが、今年度は場所を豊後高田市夷地区に限っての実施となった。

夷地区の観光資源である「夷谷温泉」を基地とした情報発信を実現するために、霊仙寺の鬼をキャラクター化（えびすけ&ちびすだに兄弟）し、オリジナルデザインのタオルを開発した。開発費用の一部はクラウドファンディング及び募金によって集め、完成したタオルは夷谷温泉及び別府大学（学内店舗、香りの博物館）での販売を実施した。

また、郷土料理のひねり餅のアレンジメニューの開発も試みた。

【別府大学・中山昭則ゼミの活動履歴】

- ・三重の郷との顔合わせ 企画の説明等 (6/15・東夷公民館)
- ・ひねり餅づくり体験 伝統食に関する取材 (8/9・東夷公民館)
- ・別府大学でのひねり餅アレンジメニューの試作 (8-9月・別府大学)
- ・おおいた産官学交流合同シンポジウム ポスターセッションで最優秀賞 (11/12)
- ・タオルのデザインに関する協議1 (11/25・東夷公民館)
- ・タオルのデザインに関する協議2 (12/15・東夷公民館)
- ・別府大学での募金開始 (1/3・別府大学)
- ・デザイン完成 (1/28)
- ・オリジナルタオルの御披露目 (2/15・夷谷温泉)



別府大学生の来訪 (6/15)



ひねり餅作り体験 (8/9)



ポスターセッションの様子 (11/12)



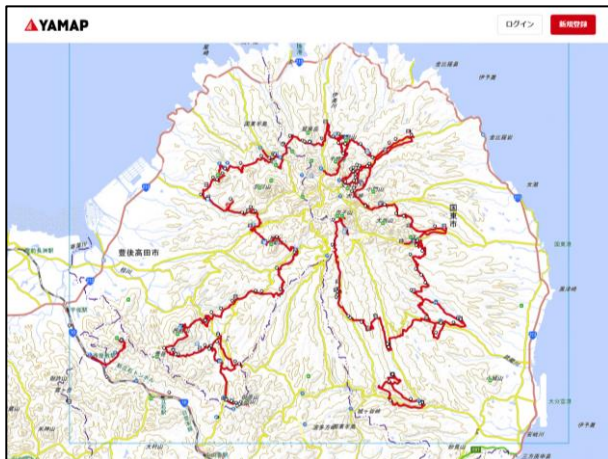
完成したタオルを持ち取材を受ける学生 (2/15)

4. 公開活用のための整備

事業⑧ 六郷満山多言語散策ガイド制作事業

YAMAP と KBC 映像【jaj.jp】を連携して使用できるシステムをアプリに組み込み、jaj.jp の利用促進と、YAMAP 上での国東半島のブランディングを同時に行う事業。

YAMAP 上の地図において、峯入りのルートをもとに1つの山としてアップロードし、多くの体験記録の投稿を集約することで、多くの人の目に国東半島が留まりやすくなった。



制作した YAMAP アプリ上のマップ



YAMAP. MAG の記事での発信の様子

5. その他の事業

事業⑨ ストーリーパンフレット改訂

よりストーリーブックを見やすく再編集したものを 25,000 部制作した。

エンブレムやエリア分けも地図に反映させ、QR 等のリンク等の整備を行った。

